総務省　九州総合通信局

DXで築く九州の安心・安全・未来

経験者採用のご案内
2026（令和8年度）

Mid-Career Recruitment Guide



総務省

Table of Contents

目次

組織図 2

業務内容 3

職員からのメッセージ 9

採用後のキャリア 12

福利厚生・ワークライフバランス 13

Q&A 15

所在・採用連絡先 17

About us

組織図

私たちは、情報通信に関する施策の実施機関及び国民の窓口機関として、九州地域7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）における情報化の推進、電気通信の規律・振興、放送の普及・高度化、電波の監理等の業務を行っています。



➢ 九州総合通信局のHPはこちら

Job description

業務内容：総務部

総務部は、職場全体の運営がスムーズに進むよう様々なサポートを行うことで、職員が働きやすい環境を整えるという重要な役割を担っています。

人事管理、広報活動

人事・健康管理、局内ルールの整備、式典運営

職員の採用、研修、給与の支給、福利厚生の管理などを行っています。また、行政文書を適切に管理するための局内ルールの整備、職員の健康管理に関する事務や啓発も行っています。さらに、局内最大の催しである電波の日の式典の準備を局の中心となって行います。

広報活動・局内の情報整理

公式ホームページの作成・公開やSNS運用を通じて、最新情報を発信しています。また、業務に必要な機器の管理や問い合わせ対応を担い、業務の円滑な運用を支えています。その他にも、業務に関連する報道内容や各課の連絡事項を局内へ周知し、職員へ情報提供を行っています。



業務説明会の様子

予算や物品の管理

効率的な予算の執行

業務に必要な予算を精査し、適切な予算要求を行っています。確保された予算は各部署の必要性に応じて配分し、無駄なく効率的に執行できるよう管理しています。

組織を支える契約と管理

局内の契約業務を担当し、必要な手続きを適切に実施しています。物品や備品の調達を行い、業務に必要な資材を安定的に確保するとともに、国有財産の管理も行っています。さらに、庁舎全体の維持・管理を担い、円滑な業務環境の整備に貢献しています。



九州総合通信局所有の施設の管理

Job description

業務内容：情報通信部

情報通信部は、地域課題の解決のためデジタル活用（地域社会DX）の推進を行うほか、電気通信事業者の監督や安心・安全なインターネット利用環境の整備などの業務を行っています。

地域情報化

ICT・デジタルで地域を豊かに

高齢化や人口減少による働き手不足が深刻化するなか、ICT・デジタル技術を活用した新しい暮らし方・働き方・学び方の実現が求められています。
そのためには地域に寄り添ったデジタル社会の実装が不可欠であることから、ICT基盤となる光ファイバ・5G等のインフラ整備を推進し、ICTの利活用に向けたセミナー等を行っています。

地域DXの最新情報はこちら！
QRコードからアクセス ⇒



VRゴーグルを体験する様子

電気通信の健全な発展

電気通信事業者の監督

電気通信事業の登録・届出や監督を行っています。

電気通信サービスに関する相談

携帯電話やインターネットサービス等に関する相談に対して、電気通信事業者、消費生活センター等と連携して対応しています。

e－ネットキャラバン等の実施

青少年が携帯電話やインターネットを安心・安全に利用できるよう、教職員や児童・学生・保護者を対象とした啓発活動（e-ネットキャラバン）を実施しています。



青少年に対する安心・安全なインターネット利用啓発

Job description

業務内容：放送部

放送部は、必要な情報を広く届ける放送サービスの普及促進のため、放送局の許認可や臨時災害放送局の開設支援、ケーブルテレビの推進などの業務を行っています。

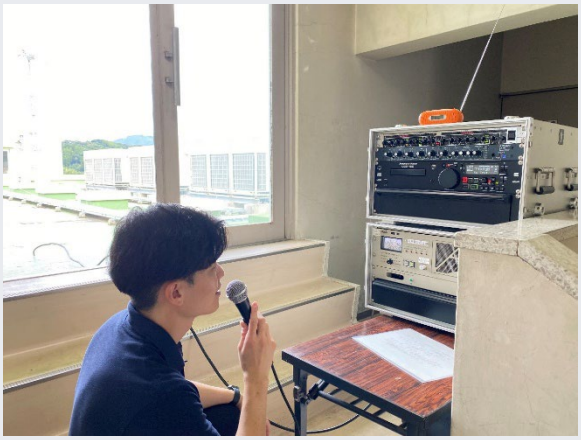
放送局の許認可等

テレビやラジオなどの放送局

国民にとって重要な情報インフラである、テレビやラジオといった放送局の免許・検査を行っています。
また、地域情報や防災・災害情報等を発信するコミュニティ放送の免許も行っています。

臨時災害放送局

災害が発生した際、自治体等が被災地の住民に向けてラジオ放送で生活支援情報を届けることができるよう、放送機器の無償貸与を行っています。



臨時災害放送局の聴取可能なエリア調査

有線放送の登録等

ケーブルテレビ事業者の登録等

専門チャンネル放送に加え、地域に密着した生活・行政情報を届ける役割を持つケーブルテレビに関して、事業者の登録等を行っています。
また、災害が発生した際、被災情報や避難情報を確実に提供できるようにするため、ケーブルテレビ網の対災害性の強化や送受信設備の整備支援を行っています。



補助金を活用して整備された設備を視察

Job description

業務内容：無線通信部

無線通信部は、限りある資源である電波を安心して利用できるよう、電波の有効利用の促進や無線局の許認可などの業務を行っています。

無線局の許認可等

身近で利用される無線局

スマートフォンの普及に伴い通信需要が急増する携帯電話やタクシー等の各種業務用無線など、社会基盤として身近で利用される無線局の免許・検査を行っています。

人命・財産を守るための無線局

航空機や船舶の安全な航行に不可欠な航空・船舶無線、国民の命と暮らしを守るための消防・救急・警察無線、災害時に重要な役割を果たす防災行政無線など、重要な通信を行う無線局の免許・検査を行っています。



衛星通信施設

電波の有効利用の促進

周波数の管理・電波利用の研究

電波は有限な国民全体の資源です。この共有資源である電波の利用状況などを調査し、新たな電波の活用に役立てています。

また、地域のニーズに応じた電波の新たな利活用に向けて調査検討を行い、その成果を地域の電波利用の促進につなげています。



技術試験事務における潜在電界調査

Job description

業務内容：電波監理部

電波監理部は、適正な電波利用環境維持のため、違法・不法無線局の排除や電波の利用ルールの周知啓発活動などの業務を行っています。

電波監視・不法無線局対策

重要無線通信妨害の迅速な排除

社会的に重要な役割を担っている消防・救急無線や航空無線などに障害等が発生した場合は、迅速にその障害源を排除しています。

電波の監視、混信障害対策

電波がルールを守って利用されているか、電波の混信が発生していないか等、電波監視を行っています。

不法無線局の排除

不法無線局は、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、携帯電話の通話を妨害したりするなど、暮らしに悪影響を及ぼすだけでなく、警察・消防・防災行政無線など人命、財産に関わる重要な無線に混信や妨害を与える場合もあります。そういった事態を防ぐため、警察などと共同で取締りを行っています。



電波の監視



船舶に設置された不法無線局の排除

電波に関する正しい知識の普及

電波の適正利用に関する周知啓発

電波は、私たちの暮らしや社会インフラを支える重要な資源です。誰もが安心して電波を利用できる環境を維持するためには、電波利用に関する正しい理解とルールの遵守が欠かせません。
九州総合通信局では、説明会の開催や各種広報活動を通じて、電波の適正利用に関する周知・啓発に取り組んでいます。



小学生向け電波教室の開催

電波の安全性に関する情報の提供

携帯電話やWi-Fiの普及により、電波が人体に与える影響への関心が高まっています。電波の安全性に関する正しい知識を国民が得られるよう、電波の安全性説明会を開催するなど、普及啓発に取り組んでいます。また、電波の人体影響に関する不安や疑問に対して、相談対応も行っています。

Job description

業務内容：防災対策推進室ほか

防災対策推進室

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣

地方公共団体の災害対策本部等にリエゾンを派遣し、通信・放送の被災状況を把握し、早期復旧に向けた関係機関との連絡調整を行っています。



リエゾン派遣による災害対策支援

災害対策用機材の貸与

情報伝達手段を臨時的に確保することができるよう、地方公共団体等に対して、移動通信機器等の貸与を行っています。

災害に備えた関係機関との連絡

災害時の対応を円滑に実施するために、平時から電気通信事業者・地方公共団体・自衛隊等の防災関係機関との情報共有・意見交換や防災訓練等を実施して、連携強化を図っています。



陸上自衛隊・通信事業者との共同訓練

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティに係る普及啓発

サイバーセキュリティの意識向上を図るため、関係機関と連携しつつ、各地域でサイバーセキュリティセミナーやサイバーインシデント演習を開催しています。

サイバーセキュリティ人材の育成

情報通信研究機構（NICT）が実施している、情報システム担当者等を対象とした体験型の実践的サイバー防御演習（CYDER）について参加拡大に取り組んでいます。



サイバーインシデント演習in博多

信書便監理室

民間事業者による信書便サービスに関して、許認可や周知・啓発活動を行っています。

総合通信相談所

情報通信行政に関する全般的な相談対応を行っています。

コンテンツ適正製作取引調査室

放送コンテンツ製作の適正な取引の推進及び関係行政機関、その他の関係者との連絡調整を行っています。

Message

経験者採用職員からのメッセージ

8:30　登庁

登庁後はメールやスケジュールを確認し、一日の業務を整理します。

10:00　定例会議

課内で当日の予定や業務の進捗を共有します。担当案件で生じた課題について意見交換を行い、円滑に業務を進められるよう調整します。

11:00　書類審査

許認可申請や届出書類を確認し、法令や基準との整合性を審査します。適切な手続となるよう確認しながら進めています。



12:00　昼食

庁舎内の食堂や売店を利用しています。その日の気分で選ぶことができ、同僚と談笑しながらリフレッシュしています。

13:00　事業者対応

事業者からの問い合わせや相談に対応します。電話やメールでの相談対応が中心ですが、オンライン会議や来庁対応を行うこともあります。

15:00　補助金業務

申請書類や実績報告書を確認し、交付要綱との整合性をチェックします。適正な手続となるよう自治体や事業者と調整を行います。

17:15　退庁

退庁前には当日の進捗を整理し、翌日の予定を確認します。業務の状況にもよりますが、仕事と私生活を両立しやすい環境です。



放送部　有線放送課
第1有線放送担当チーフ

採用2年目
民間経験：約10年

経験を活かし、社会を支える

現在、有線放送課で放送法や有線電気通信法に基づく許認可・届出業務、補助金業務などを担当しています。事業者からの相談対応や申請書類の審査を通じて、地域の放送・通信サービスを支える仕事です。業務では法令や制度を正しく理解し、事業者ごとに状況の異なる案件へ丁寧に対応することが求められます。

私は経験者採用で入局し、これまで営業職やIT職、事務職など複数の職種を経験してきました。前職と現在の業務内容は大きく異なりますが、相手の立場を考えながら説明や調整を行う力、正確に事務処理を進める力は現在の業務でも活かされています。

入局当初は法令や制度の理解に苦労しましたが、研修制度や周囲のサポートが充実しており、安心して業務を学ぶことができました。前職で培った経験を活かしながら新しい分野に挑戦できることが、この仕事の大きな魅力だと感じています。

QUESTION

Q1　入局前と後でギャップを感じたことはありますか？

入局前は、国家公務員の職場は比較的淡々とした雰囲気をイメージしていました。しかし実際は相談しやすく、業務が円滑に進むよう職員同士で支え合う文化が根付いていると感じています。

Q2　仕事のやりがいや魅力を教えてください

事業者からの相談や申請に対し、関係法令や制度を確認しながら適切に対応できたときにやりがいを感じます。自分の業務が地域の放送・通信サービスを支える一助になっていることも魅力です。

Q3　九州総合通信局の魅力は？

人の温かさと働きやすさだと思います。職員同士で相談しやすい雰囲気があり、経験者採用者も馴染みやすい環境です。また、安心して働きながら、社会を支える仕事に携われる点も魅力です。

Interview article

経験者採用職員に聞いてみました



情報通信部 電気通信事業課
主任

採用1年目
前職での公務員経験：約14年

Q1 なぜ九州総合通信局への転職を決めたのですか？

家族との時間を大切にしたいという思いから転職を決意しました。
熊本勤務で生活設計を立てやすく、情報通信行政という新たな分野に挑戦できることにも魅力を感じました。

Q2 未経験の分野への不安はありませんでしたか？

入局前は情報通信分野の知識がなく不安でしたが、上司や同僚に相談しやすい環境があり、周囲のサポートを受けながら少しずつ知識を身につけています。
採用直後の経験者採用研修で知識を得られたことも大きな支えになりました。

Q3 九州総合通信局で働く魅力を教えてください。

穏やかで風通しの良い職場環境の中で、これまでの行政経験を活かしながら専門性を高められることです。
また、休憩時間短縮の制度やテレワークを活用でき、子育てと仕事を両立しやすい点も大きな魅力です。

前職での経験が活きています

前職で培った経験
・法令の解釈
・関係事業者との折衝
・調整、問い合わせ対応
・公務員としての業務遂行力

現在の業務で活用
・電気通信事業の届出審査
・法令に基づく判断
・事業者への対応
・円滑な業務運営

ワークライフバランスについて聞いてみました

- 熊本勤務で生活設計がしやすい
- 休憩時間短縮制度を活用
- テレワークを活用
- 子育てと仕事を両立
- 休暇を取得しやすい環境

仕事と家庭を両立しながら、安心して長く働ける環境です。

転職を考えている方へのメッセージ

情報通信分野の知識がなくても、入局後に学びながら成長できる環境があります。
私自身も未経験でのスタートでしたが、上司や同僚のサポートを受けながら知識を身につけてきました。これまでの職務経験で培った知識やスキルは、必ず新しい職場でも活かすことができます。

家族との時間もキャリアの成長も

別の省庁で14年間勤務した後、家族との時間を大切にしたいという思いから九州総合通信局へ転職しました。

入局前は、情報通信分野の知識がないことに不安を感じていましたが、上司や同僚に気軽に相談できる環境があり、少しずつ知識や理解を深めています。また、経験者採用研修では全国の同期職員と交流する機会があり、同じ立場の仲間とのつながりが大きな励みになりました。

職場は穏やかで風通しが良く、安心して業務に取り組める環境です。テレワーク等を活用しながら、子育てと仕事を両立できています。

熊本で生活設計を立てながら、情報通信行政という専門性の高い分野に携わり、新たな知識を学び続けられることが大きな魅力です。これまで培った行政経験を活かしながら、地域や社会に貢献できることにやりがいを感じています。

Message

職員からのメッセージ

テレビ・ラジオを支え、社会に貢献する仕事



放送部　放送課
担当チーフ
（係長）

採用22年目
工学部

私が所属する放送課の業務は、皆さんに親しまれてきた馴染み深いテレビやラジオの許認可業務を主として行っています。いつも当たり前のように放送しているテレビやラジオは、報道や教育、娯楽などの番組を提供しており、また、災害が発生した際には被害状況等の情報収集の手段として大変重要な役割を果たしています。

このような放送局を新たに開設する場合や既存の放送局が設備を更新する場合等において、関係法令に定める基準を満足しているか審査し、免許や検査を行っています。影響力の大きい放送局の審査は、非常に正確な判断が求められ緊張感を伴いますが、そんな業務にやりがいを見いだせる方には、ぜひ九州総合通信局をお勧めします。

QUESTION

Q1 係長として大切にしていることとは？

自分のこれまでの経験による知識を、後輩に分かりやすく伝えることです。また、誰でも気軽に意見を出せるような職場の雰囲気づくりです。

Q2 新規採用職員に対して、どのようなサポートをしていますか？

新規職員には所属部署の先輩が指導員として付き、実際の業務を行いながら教育を行っていきます。

Q3 休日の過ごし方は？

中学生の子どもが野球部に所属しているので、試合の応援や審判に駆り出されます。おかげで平日より早起きです。



法律遵守で信頼を守る、やりがいある業務



総務部　財務課
上席企画監理官
（課長補佐）

採用29年目
情報工学科

財務課での調達・契約業務は、法律や規則に従って行われ、これらの遵守が必須です。税金を利用する以上、国民からは費用対効果が高いことが期待されています。このため、効率性と透明性が不可欠であり、契約プロセスは明確かつ正確でなければならないことから、私たちの職場では積極的にインターネットを用いた調達手続の電子化に努めています。また、金銭に関わる業務のため、個々のやりとりにおいては、誤解を防ぐために、明確で迅速なコミュニケーションを心がけています。

業務内容は少しかたいかもしれませんが、職場の雰囲気はとてもアットホームで、協力し合いながら楽しく働いています。未経験の方でも安心して業務に取り組むことができる職場です。

QUESTION

Q1 上席として日々の業務で意識していることは？

楽しく働くためには？を常に意識しています。仕事が楽しければ、モチベーションも上がりますね。

Q2 職員が安心して働ける環境づくりのためにどんな取り組みをしていますか？

積極的にコミュニケーションの構築を図り、お互いにサポートし合える環境作りに努めています。

Q3 休日の過ごし方は？

友人と会ってカフェでおしゃべりすることが多いです。時には、趣向を凝らした素敵なアフタヌーンティーセットで、季節ごとのイベントの雰囲気を楽しんでいます。



Career advance

採用後のキャリア

係長級（30代～40代）

中堅職員として、携わる業務もより責任が伴うものになります。また、係員のサポートにも関わる立場になります。



課長補佐級（40代～50代）

より直接的、具体的に施策に関わっていく立場となります。経験を存分に活かし、課長のサポートや部下の指導にも携わります。



課長級（50代～）

課室の長として業務遂行の指揮をとる活躍を求められるとともに、管理職としてのマネジメント能力も要求されます。

Work life balance

福利厚生・ワークライフバランス

職員一人ひとりが「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる職場へ。

～多様な人材が成長し、活躍できる環境づくり～

総務省では、職員一人ひとりが公務に誇りを持ち、意欲高く働ける職場づくりを推進しています。
キャリア形成や能力開発を支援し、「働きがい」を高めるとともに、テレワークやフレックスタイム制度、育児・介護との両立支援などを通じて、「働きやすさ」の向上にも取り組んでいます。また、生成AIの活用をはじめとする行政DXを推進し、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる環境づくりを進めています。

学びと成長



各種業務内容・役職に応じた研修を準備、オンライン研修も整備

業務における幅広い学びのニーズに応えるため、研修所（東京都）を利用した集合研修、テレビ会議システムを活用したオンライン研修、業務上で使用する各種機器の使用研修、許認可を行っている最新型無線設備等の実地見学など、各種業務内容・役職に応じた学びのコンテンツを取り揃えています。育児・介護等で実地研修の参加が難しい職員のために、オンライン受講可能な研修も取り揃え、場所を選ばず全ての職員が学ぶことのできる環境を整備しています。

柔軟な働き方に対応した勤務時間制度



ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方

私たちの職場では、自宅勤務を可能とするテレワークを推進しています。テレワークの推進にあたり、オフィス改革としてペーパーレスや電子化の推進・オンライン会議の促進等により、テレワークが一般的な勤務形態の1つとして定着しつつあります（テレワーク実績：平均1回/月程度）。テレワークは、ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、職員が最も効率的な仕事ができる場所を自主的に選択し、生産性の高い働き方につながっています。働く時間と場所の柔軟化にも取り組んでいます。ワークライフバランスの実現を図るために、公務の運営に支障がないと認める範囲で「フレックスタイム制（コアタイム有）」の制度も整備しています。

Work life balance

福利厚生・ワークライフバランス

休暇・福利厚生



心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分発揮できる環境を実現

私たちの職場では、職員が有意義なプライベートを過ごし、充実した心身で働けるよう、休暇制度を設けています。毎年20日分の年次休暇が付与され、趣味や家族との時間を確保できます（年次休暇取得日数：平均18日/年程度）。出産・子育てには産休・育休、病気や怪我には病気休暇、家族の介護には介護休暇などが利用可能です。（詳細は人事院HPをご覧ください。）
福利厚生として、健康診断・ストレスチェック、共済による給付制度、住居宿舎の貸与などがあります。

両立支援制度



仕事と生活のバランスを取ることにより、長く働き続けることができる制度を整備

妊娠・出産・育児・介護などのライフステージの変化を受け入れ、働き続けるためには、各種休暇を取得する、勤務時間を早出/遅出に切り替えるなど、必要に応じて、仕事と生活の両立に向けた制度を利用することが大切です。私たちの職場では、職員の希望や事情に配慮した働き方ができるよう、職場環境を整備しています。
特に、近年は男女問わず育児休業の取得率が100％であり、男性職員であっても育休を取れる環境となっています。

制度利用者の声



電波監理部
監視調査課係員
（平成30年採用）

令和6年11月及び令和7年3月で計2回育児休業を取得しました。約1月ずつの取得でしたが、職場からも遠慮せずに取得した方がいいと後押ししてもらったため、男性でも非常に取得しやすい環境だと感じました。また、一般的な有給休暇以外にも、男性側には「配偶者出産休暇」や「育児参加のための休暇」といった特別休暇が設定されており、出産予定日の前後には様々な休暇制度を流動的に取得することができました。出産や育児は一生に何度もあることではないので、貴重な機会を家族と過ごすことができ、職場の理解と配慮のおかげで良い経験ができたと感じています。



総務部
財務課係員
（平成30年採用）

令和5年5月に第二子を出産し、約1年育児休業を取得しました。仕事と育児の両立のため様々な制度を利用しました。妊娠後期は、お腹が大きくなり負担が大きかったため、通勤緩和のための職務専念義務の免除（有給）の利用。復帰後は、保育園の送迎時間等の確保のために、休憩時間の短縮（30分）、子が0歳の時は毎日保育時間1時間（有給）、子が1歳を超えてからは育児時間30分の取得、テレワークも行いました。制度以外の面では、復帰後は慣れた部署に配属していただき、業務面でも調整が行いやすく周囲の理解と配慮がある職場だと感じています。

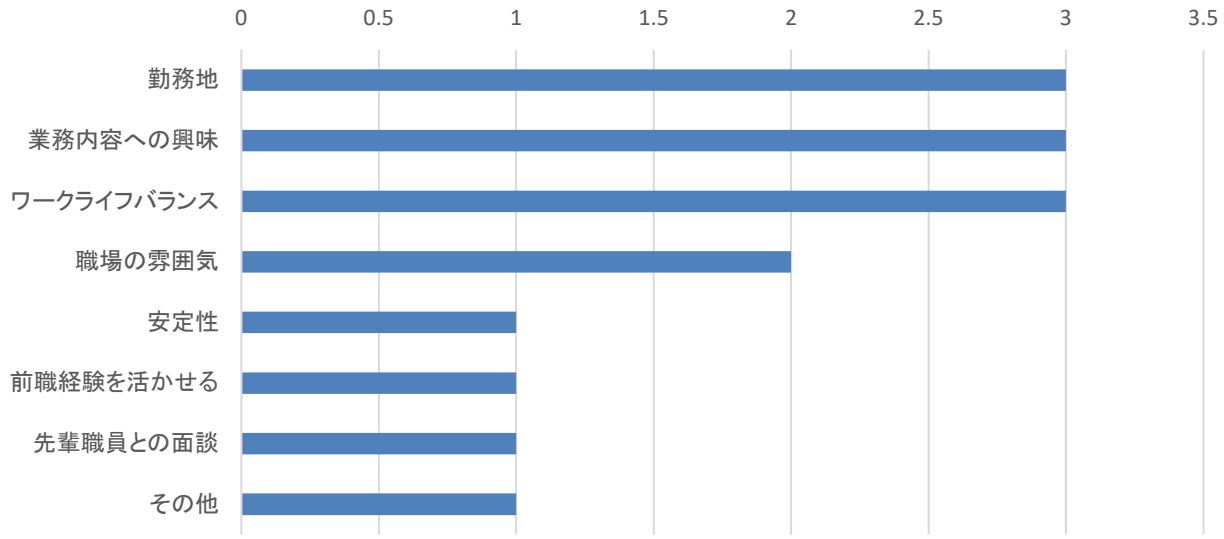
➢ 両立支援制度の詳細はこちら
参考：**人事院 妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援のページ**

➢ 勤務時間・休暇制度
参考：**人事院HP**

Question and Answer

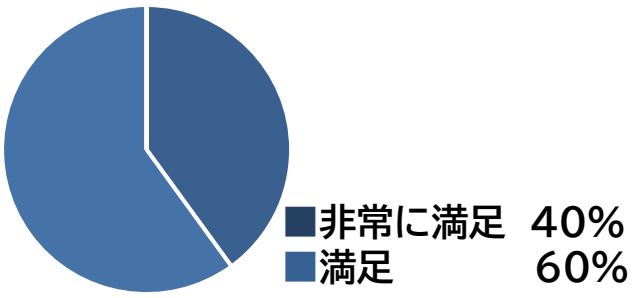
Q&A

Q. 入局の決め手を教えてください。

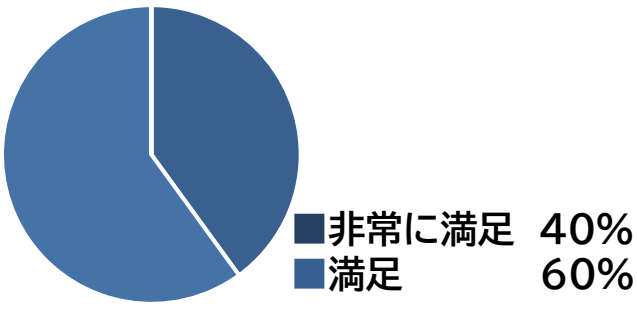


Q. 入局後の満足度は？

職場環境満足度



研修満足度



転職満足度



Question and Answer

Q&A

Q. 情報通信の専門知識が必要で難しそうですが・・・？

A. 総合通信局は情報通信分野の幅広い業務を行っていますが、採用直後、情報通信政策研究所（東京都国分寺市）において経験者採用者研修があるほか、関係する各分野の専門研修制度がありますので、業務を行いながら専門知識を習得することができます。



情報通信政策研究所



可搬型放送設備実習

Q. 残業はありますか？

A. 業務の効率化を行い、超過勤務時間の削減を図っています。
平均6時間/月程度です。※係長層（再任用者除く）

Q. 出張はありますか？

A. 九州内の地方自治体、大学、企業などへの訪問、無線局の検査、電波監視などの出張があります。部署や時期により変動がありますが、少ない部署（総務部）では平均0．1日/月、多い部署（電波監理部）では平均3．5日/月程度出張しています。



インターネット利用啓発



電波監視

Address

所在・採用連絡先

採用連絡先

〒860-8795

熊本市西区春日2-10-1

熊本地方合同庁舎A棟 11階

九州総合通信局

総務部　総務課　人事係

096-326-7809



交通アクセス
JR熊本駅より徒歩5分
市電二本木口より徒歩1分
二本木バス停より徒歩2分

➢ 採用情報はこちら
九州総合通信局HP
採用情報

